

# 「森の国」で、アドベンチャーしようや



滑床渓谷

まちづくり青年会議って、何者？



NPO 法人松野まちづくり  
青年会議 会長  
**山崎 匡**  
(松野町)

私たちのまち松野町は、四国西南部の高知県境の山あいであり、豊かな森や美しい川などの自然環境、脈々と受け継がれてきた歴史や文化、そして温かな気候風土に恵まれています。特に、足摺宇和海国立公園に指定されている滑床渓谷は、滑らかな岩肌の上を走る清流の美しさから西日本有数の渓谷として広く知られていて、その象徴である雪輪の滝は、日本の滝百選にも認定されています。また、町の中央部を流れる広見川は、日本最後の清流と呼ばれる四万十川の最大級の支流で、古き良き時代の農村風景を今に伝えるとともに、天然うなぎや川ガニ、アユなどの清流の味覚を私たちに与えてくれています。

この松野町で、昭和57年に商工会青年部や青年団などの青年組織の連絡協議会として発足したのが、「松野町まちづくり青年会議」です。以来、若者たちパワ―



滑床渓谷の象徴「雪輪の滝」

を結集し、自分たちの手でまちづくりを進めようと、自主的にいろいろな活動に取り組んできました。全国でも先駆的な試みであった野外ロックコンサート「森の国音楽祭」、清流広見川を手づくりイカダで下りながら環境問題を考える「ふるさと川下り」などのイベントのほか、滑床渓谷や広見川の美化清掃作業、町内の不法投棄ゴミの撤去、さらには市町村合併問題についての勉強会の開催など、20年を超える長きにわたって活動を継続しています。なお、平成19年にはNPO法人格を取得して「NPO法人松野まちづくり青年会議」となりましたが、会員

の新陳代謝があまり進まず、青年会議というよりおっさん会議という名称の方が適切な状況となっているのが、唯一の悩みです。

**滑床渓谷を、まるごと体験してください**

11月に開催するこの分科会の舞台は、もちろん美しい紅葉に彩られた滑床渓谷ですが、何しろ自然が相手なので、全てが快適で便利というわけにはいきません。雨の日や寒い日にぶつかるとは



滑床ファミリーアドベンチャー「すいか割り」

ませんし、遊歩道の散策が思った以上にキツイかもしれません。携帯電話も通じません。でもそれがアウトドアの醍醐味、かえって参加者の皆さんに生涯忘れられない思い出をプレゼントすることになるでしょう。まあ、晴れた方がいいけど。



分科会宿泊場所「森の国口ツジ」

このアウトドア体験企画は、実はまちづくり青年会議が8年前から町内外の家族連れを対象に夏休みに開催している定番イベントで、毎年松山市などから多くのファミリーに参加してもらっています。はじめの頃は、竹筒で炊いたご飯が真っ黒な炭になったり、サルがテントに侵入したりと、いろいろなハプニングがありました。8年間のノウハウの蓄積により、皆さんに喜んでもらえる魅力的なプログラムをご用意できると自負しております。

**愛媛大会に向けて、がんばってます！**

まちづくり青年会議のメンバーは、30代から40代の中期中年者が主力で、職業

はさまざまですが、全員が松野町と滑床渓谷の自然を深く愛しています。そして、志を同じくする「滑床を愛する会」(こちらは前期高齢者が比較的多いが、体力的には私たちより上かもしれません)と一緒に、準備に取り掛かっています。参加した皆さんの滑床渓谷での思い出づくりをお手伝いしたい、そして全国の仲間との交流を通して自分自身も高められるように、この貴重な機会を活用したいと考えています。

自分でおこした火で料理をし、星空の下でビールを酌み交わし、せせらぎの音を聞きながら眠る非日常を、貴方も体験してみませんか。滑床渓谷は、いつでも皆さんをお待ちしています。



滑床ファミリーアドベンチャー参加者とスタッフ